

平成25年度 全国保健師長会 ニュース No.3 第2回理事会報告

平成25年10月運営会議発行

猛暑から一転、足早に秋の深まりを感じる今日この頃となりました。 食欲の秋、みなさま食べ過ぎにはご注意を! さて、全国保健師長会ニュース No.3 は、9月21日に開催された理事会について報告いたします。

《第2回理事会》

· 日時: 平成25年9月21日(土)10:30~15:00

·場所:日本公衆衛生協会 1階会議室

理事会の冒頭、厚生労働省老健局鶴田課長補佐から「介護予防の目指す方向」について説明がありました。 "高齢者が地域づくりの担い手となり地域の人と繋がり、活躍できるような「地域づくり」"を目指すために、 保健師のコーディネーター機能への期待が寄せられると共に、来年度新規に取り組む「地域づくりによる介護・ 予防推進支援モデル事業」の事業アドバイザーの推薦について、会に協力依頼がありました。また、関連情報の 「見える化」事業について、今年度末のシステム稼動を目指しているとの話でした。

1 議事

(1) 第35回代議員総会について

平成25年11月2日(土)に鳥取市の白兎会館で開催される代議員総会の議案、当日の運営等の確認作業を 行ないました。

(2) 提案・報告事項

①公衆衛生看護学会学術集会担当委員会の設置について(提案)

平成24年7月に日本公衆衛生看護学会が設立になり、25年1月に第1回学術集会が開催された。 学術集会は、保健師動のまとめや調査研究の報告の場で、専門職としての自己研鑚、資質向上の場として重要である。

現在は実行委員として開催地の自治体保健師が企画・運営に関与しているが、「公衆衛生看護学会学術集会担当委員会」を設置し会として運営に参画していくことが提案され、理事会で検討の後、承認された。

・委員:委員は5名で、任期は1年。

学術集会開催地の自治体又はブロックから選出するが、1~2名は次年度学術集会開催地の自治体またはブロックから選出する。

・業務:学術集会全般の企画・運営、保健師長会主催のワークショックの企画・運営等

②役員の継続について

第33回全国保健师長会総会で「全国保健师長会OB会設立のための準備会の設置」と、規約第5条4「保健师長と同等以上の職にあるもので、本会の趣旨に賛同するもの」が承認されたことを受け、「選挙で選出される役員は、その任期中に行政組織の退職があっても保健师長会の役員を継続できる」ことが報告された。



(3) その他

8ブロックの理事から、今年度のブロック活動の報告があった。

各ブロックとも「地域における保健師活動について」と「災害マニュアル」をテーマに、実践報告やグループワーク・事例報告等が行なわれ、各ブロック共に今後の保健師活動のあり方について、有意義な研修が行えたと報告があった。

また、北関東甲信越ブロックから研修会の実践報告をまとめた冊子が配布されたが、活動を形として残し、皆で共有していくことが必要との意見が出された。

(4) 意見交換

●地域における保健師の保健活動に関する指針策定に向けた取り組みについて

保健師活動指針を各自治体が具体化できるように、会として①各自治体の策定進揚状況の把握、②指針の内容や策定方法に関する情報交換、③指針のフレームの提示等により策定を支援することになった。

具体的な取り組み方法とスケジュールは今後検討することになったが、自治体毎の策定プロセスを大切にすると共に、各自治体の保健師がめざすべき方向を共有できるように支援していくことになった。

また、各自治体の策定に際して、予算、方法、市町村部会等部会活動等との関係について、意見交換を行った。

2 報告事項など

●保健部学生の臨地実習に関する調査について

調査結果については、ホームページにアップする。

会では臨地実習にむけたガイドラインを全国自治体に配布し、研修会等を行ってきた経過を踏まえ、平成26年以降の4単位・5単位臨地実習について、各自治体の受け入れ準備状況の調査を10月中に行う予定。

●ホームページの改変に関する協力依頼

平成26年度のホームページリニューアルに際しては、各地域の活動状況を知りたいとの要望が多いことから、各ブロック及び支部の活動の紹介を充実することになり、各ブロック理事への協力依頼があった、 また、支部活動の紹介については、代議員総会で各支部長に協力を依頼する予定。

●地域保健総合推進事業について

「ソーシャルキャピタルの醸成や活用にかかる保健活動のあり方について」の調査研究を実施し、グループインタビューが終了した。今後、調査項目を抽出して11月頃に全国調査を実施する予定なので、調査へのご協力をお願いしたい。

【編集後記】

第2回理事会では、今年度の代議員総会の打ち合わせと次年度の保健師長会の活動についての確認が行われました。保健師長会の活動は、今、そして将来保健師が専門職として進むべき方向を示す羅針盤のようだと思います。

この羅針盤を見つつ、一人ひとりの保健師が今何をすべきかを考え、時代や住民のニーズにきちんと応えられる 保健活動ができたら、との思いを抱きながらニュースを作成しました。ニュースに関して、ご意見やご要望、情報 提供等がありましたら、事務局までご連絡下さい。

(作成:広報委員会)